令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	8	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人高松市スポーツ協会		
所在地	香川県高松市福岡町四丁目36番1号						
電話番号	087-822-0211			FAX番号	087-822-0120	所管部局	創造都市推進局スポーツ振興課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	http://www.taka-spo.or.jp/						
代表者職氏名	会長　大西　努			設立年月日	昭和61年4月1日		
基本財産	10,000　千円			市出資等額(割合)	10,000　千円	（ 100.0% ）	

設立目的	住民のスポーツ・レクリエーションを振興し、体力の向上を図り、生涯スポーツを推進することにより住民が広くスポーツに親しむとともに、高松市等から指定管理者としての指定を受けたスポーツ施設等を効果的、効率的に活用して豊かな人間性の涵養と健康で文化的な住民生活の実現に資することを目的とする。
事業概要	子どもからお年寄りまで、だれでも参加できる魅力あるスポーツ教室・レクリエーション教室等の自主事業を充実させるとともに、スポーツ施設等の効率的かつ円滑な運営を進め、住民の健康増進とスポーツの振興を図る。
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	16 人	16 人	15 人
うち市派遣(兼務含む)	2 人	1 人	1 人
うち市退職者	0 人	1 人	0 人
役員平均年間報酬	2,258　千円	2,610　千円	2,961　千円
職員数(非常勤含む)	97 人	101 人	101 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	2 人
職員平均年間報酬	3,421　千円	3,427　千円	3,353　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
スポーツ施設の管理業務	高松市から指定管理者として指定を受けた36のスポーツ施設等の管理運営	857,054千円
スポーツ教室開催事業(自主事業)	幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、スポーツ施設の特徴を生かした各種スポーツ教室を開催し、生涯スポーツの推進を図る	31,180千円
競技スポーツ等の振興事業	競技スポーツ、地域スポーツ及び健康・レクリエーションスポーツの振興並びにスポーツ団体・人材の育成	16,534千円
物品販売事業	自動販売機を設置し、販売手数料を収受及びラインテープ等の物品販売	8,478千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	6,884　千円	7,244　千円	7,036　千円
委託料	684,607　千円	703,121　千円	659,562　千円
うち指定管理料	684,607　千円	703,121　千円	659,562　千円
その他	0　千円	0　千円	0　千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	経常収益	993,200 千円	1,028,116 千円	979,903 千円
	経常費用	995,585 千円	1,026,417 千円	989,440 千円
当期経常増減額		△ 2,385 千円	1,699 千円	△ 9,537 千円
	経常外収益	0 千円	0 千円	0 千円
	経常外費用	0 千円	0 千円	0 千円
当期経常外増減額		0 千円	0 千円	0 千円
当期一般正味財産増減額		△ 2,385 千円	1,699 千円	△ 9,537 千円
当期特定正味財産増減額		0 千円	0 千円	0 千円
当期正味財産増減額合計		△ 2,385 千円	1,699 千円	△ 9,537 千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	流動資産	136,639 千円	183,458 千円	137,131 千円
	固定資産	266,531 千円	251,910 千円	279,928 千円
資産計		403,170 千円	435,368 千円	417,059 千円
	流動負債	120,502 千円	164,937 千円	120,309 千円
	固定負債	256,531 千円	241,910 千円	269,928 千円
負債計		377,033 千円	406,847 千円	390,237 千円
	指定正味財産	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
	一般正味財産	16,137 千円	18,522 千円	16,823 千円
正味財産計		26,137 千円	28,522 千円	26,823 千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

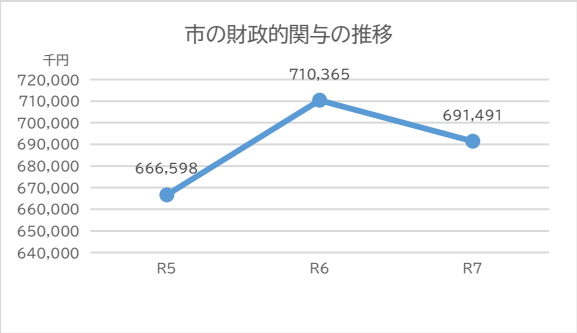
＜主な経営指標＞

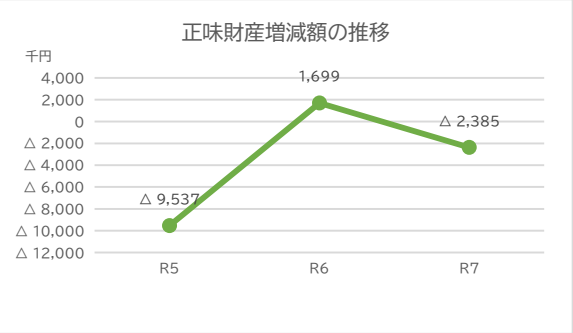
区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	113.4 %	111.2 %	114.0 %
自己資本比率 （正味財産計÷負債･正味財産）	6.5 %	6.6 %	6.4 %

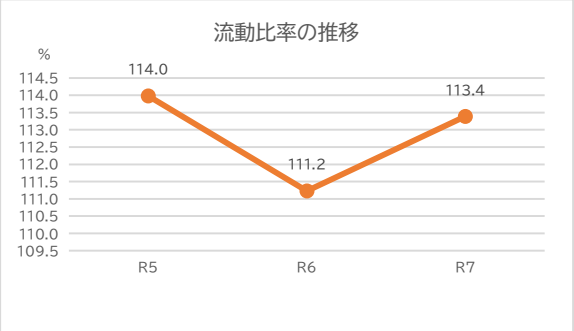
6 経営評価の総括

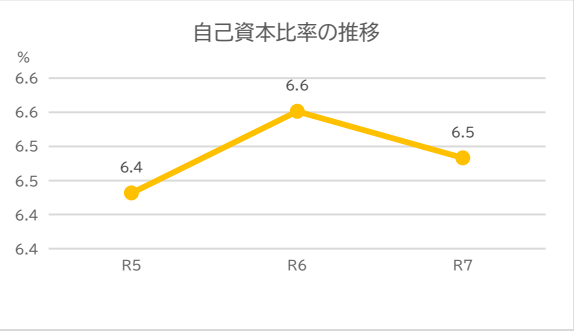
項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	施設の維持管理を適切に行うため、有資格者を配置して管理体制を維持し、日常点検や施設安全点検シートに基づく定期点検を実施した。また、緊急時に備え、防災計画、消防計画を策定し、避難訓練や職場研修等を通じて全職員に対し、安全管理、危機管理意識の向上を図ったほか、職場における熱中症対策としてファン付き作業着を貸与するなど、労働安全衛生向上に務めた。	36施設の指定管理者として、各施設の利用目的を踏まえた適切な管理運営に努めるとともに、各種スポーツ事業や自主事業の実施、市民のスポーツ活動を支える役割を果たしている。 今後も地域におけるスポーツ活動の拠点として、より効果的な施設運営を期待したい。
②業務・組織管理	効率的に管理・運営を行うため、交替制勤務とし、事務量、利用状況等に応じて、職員を適正に配置したほか、令和5年度に策定した「要員計画」に基づき、正規職員を採用した。また、職員の健康診断を定期的に行うなど、就業規則及び労働関係法令の遵守に努めたほか、万一の事故に備え、社会体育施設保険や重要物品の火災保険など損害保険に加入した。	適正な人員配置のもと、各施設の業務を円滑に実施するとともに、職員研修や情報共有等を通じて、安定した施設管理に努めている。 今後も職員の資質向上及び人材の確保・育成を図り、継続的かつ安定した管理運営を期待したい。
③財務状況	職員の時間外勤務等の縮減に取り組んだほか、各施設応援体制をとるなど効率的な勤務体制をとることで人件費の縮減を図った。物件費については、省エネの徹底や委託業務、施設等の修繕を可能な限り職員で実施するなど、経費節減に努めた。また、公益法人会計基準に従い、適正に会計処理を行い、税制面において優遇措置を受けている。	施設の管理運営に係る経費について、業務内容や実施方法を見直しながら、効率的な執行に努めている。 また、自主事業の実施や利用促進等による収入の確保にも取り組んでおり、適正な施設運営と経費節減の両立を図っている。 今後も施設の維持・修繕等に必要な経費を適切に見極め、持続可能な財源運営に努めることを期待したい。
④今後の方向性及び課題	今後、施設の管理運営を継続的かつ安定的に推進していくにあたり、施設の老朽化や物価高騰、人件費の増加といった外部環境の変化が大きな課題として懸念され、運営財政に直接的な影響を及ぼす可能性が高い。こうした状況を踏まえ、行政支援の活用などを通じて、安定的な財源確保と利用者満足度の向上に努めていきたい。	今後、施設の老朽化や維持管理に係る負担増加が見込まれる中、施設を安全かつ安定的に維持していくためには、計画的な修繕や適切な維持管理を継続していくことが重要である。 また、利用者ニーズの多様化を踏まえ、新たな利用者の確保や利用機会の拡大につながる取組が求められることから、指定管理者のノウハウを活用しながら、効率的かつ効果的な施設運営を期待したい。

【再掲】各指標の推移


市の財政的関与の推移
千円
720,000
710,000
700,000
690,000
680,000
670,000
660,000
650,000
640,000
666,598
710,365
691,491
R5
R6
R7


正味財産増減額の推移
千円
4,000
2,000
0
△ 2,000
△ 4,000
△ 6,000
△ 8,000
△ 10,000
△ 12,000
△ 9,537
1,699
△ 2,385
R5
R6
R7


流動比率の推移
%
114.5
114.0
113.5
113.0
112.5
112.0
111.5
111.0
110.5
110.0
109.5
114.0
111.2
113.4
R5
R6
R7


自己資本比率の推移
%
6.6
6.6
6.5
6.5
6.4
6.4
6.4
6.6
6.5
R5
R6
R7